

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和5年度 第1回東広島市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和5年10月3日（火）15:00～17:00
開催場所	東広島市役所本館4階 会議室404
出席者氏名	坂田会長、小坂副会長、越智委員、坂本委員、住田委員、高橋委員、市場委員、野村委員、藤本委員、前延委員
欠席者氏名	小勝負委員、財満委員
事務局職員氏名	生活環境部 人権男女共同参画課 中川課長、小田係長、森岡主査、坂田主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> 議題1 東広島市審議会等委員への女性登用状況について 議題2 第3次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）の取組状況について 議題3 男女共同参画推進事業の取組状況について 議題4 第3次東広島市男女共同参画推進計画（後期実施計画）策定に係る市民意識調査等について 3 その他 連絡事項等 4 閉会
配付資料	<p>資料1-1 審議会等委員への女性登用状況（令和5年4月1日状況）</p> <p>資料1-2 地方自治法（第202条の3）に基づく審議会等の女性の登用状況</p> <p>資料2-1 第3次きらきらプラン 各施策の令和4年度の実績</p> <p>資料2-2 第3次きらきらプラン 令和4年度の実績判定結果／判定基準</p> <p>資料3 男女共同参画推進事業 令和5年度の取組状況および実施計画</p> <p>資料4-1 第3次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン） 後期実施計画 施策体系の考え方</p> <p>資料4-2 東広島市 男女共同参画に関する市民意識調査（案）</p> <p>資料4-3 東広島市 男女共同参画に関する事業所調査（案）</p> <p>資料4-4 東広島市 男女共同参画に関する市民意識調査（令和5年度調査票）案／設問設定一覧表</p> <p>資料4-5 東広島市 男女共同参画に関する事業所調査（令和5年度調査票）案／設問設定一覧表</p> <p>男女共同参画推進計画（前期実施計画）、市民意識調査・事業所アンケート報告書、次第、審議会規則、委員名簿、座席表</p>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・新職員の紹介 ・出席者の確認 ・計画策定業務受託業者（（株）ぎょうせい）の紹介 ・部長挨拶（部長欠席職員代読） ・配付資料の確認
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・議題1 東広島市審議会等委員への女性登用状況について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1、1-2説明
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・女性登用比率の目標値については度々聞いているが、達成できない理由を事務局はどう考えているか聞きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・女性委員のいない6つの審議会に理由を確認したところ、行政機関の充て職で委員となっている、あるいは選挙の結果で委員が選定されるため、とのことだった。例えば資料1-1に記載している土地区画整理審議会は、選挙の結果で全員男性となっている。庁内でも年度初めに、積極的に女性委員を登用するよう通知を出しているが、女性委員のいない審議会があるため、このようになっていると考える。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・充て職、選挙結果というのは分かったが、低いままで、なかなか目標を達成できない現状を考えると、これまでの働き掛けではだめではないかと思う。目標を達成するためには、どう働き掛けていこうと思っているか、見通しを聞きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の審議会でも、要項に女性委員を選出する項目を入れる、若年層の積極的な登用を図る働き掛けを行うなど、いろいろなご意見があった。国でもクオータ制の導入等が言われ、女性登用は関心が高くなっている。本市も推薦要領に基づいて、登用する2か月前までには当課まで報告する取組を行っており、定着しているところ。さらに積極的に啓発を進めるとともに、可能な審議会等があれば、女性の登用について項目を入れるのも一つの手法だと思っている。とはいえ、できやすい所、できにくい所があるので、庁内で考えていきたい。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでとは違う取組、もう一步踏み込んだ取組をやってもらいたい。女性の委員候補が見つからない場合もあると思う。大学に聞くなどの方法もあると思うので、活用してもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・当課でも「きらきらバンク」があり、資格を持っている人等が10人ほど登録されている。各課で委員を選出する際、女性委員が見つからない場合に利用してもらうよう啓発も進めている。「きらきらバンク」への登録を推進する取組も進めていきたい。

議事内容（要旨）	
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画で個人的に思うのは、労働時間の男女差があり、男性は長く、日頃から帰りは遅い。 ・今回の資料でもあったが、待機児童や介護等でなかなか出席できないこともあり、こういったことで委員選出の枠に入れないといわれることもあるかと思う。例えば、会議を開催する際に育児スペースを設ける、Zoomで会議に参加するなど、柔軟な会議を検討すると入りやすくなるのではないか。環境を整えて、女性の参加を促すことも必要だと思う。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議は、よいアイデアだと思う。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1について、こども未来部、生涯学習部の女性比率が前年より落ちているのは、何か原因があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の数が前年より減っていることが大きな要因と捉えている。女性委員数は、前年より2人減っている。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が入りやすい所に入ってもらおうというのも、一つの方法だ。 ・ほかにあれば伺いたい。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・女性委員0人の審議会について、土地区画整理審議会は仕方ないが、市町村交通安全対策会議や緑化推進委員会、森づくり協議会には女性の視点は必要だと思う。この審議会でそういった意見が出たということ、事務局から担当部局に伝えてもらえると、多少改善の力になるかと思う。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで意見が出たことを伝えてもらいたい。そして、目標に近づくようお願いしたい。 ・続いて、議題2 第3次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）の取組状況について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2-1、2-2説明
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。 ・E判定が6個あったが、その理由を知りたい。例えば、資料2-1の43番：地域防災リーダーに占める女性の割合がこの判定になった理由、増えない理由をどう考えているのか知りたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全委員111名に対して、女性が11名と聞いている。危機管理課が女性参画をテーマとした防災講演会を開催して、各地域から女性地域防災リーダーの推薦を積極的に周知してもらっている。また危機管理課で開催している出前講座では、人権男女共同参画課と連携して、防災における女性リーダーの重要性の周知を図っている。当課としても、女性の割合が低いことを実感しており、今後も様々な手法を用いて割合を上げたいと思っている。一方で、危機管理課の職員によると、現場でも女性の防災リーダーの重要性は分かっているが、各地域の実情や実態として進んでいないようである。今後も連携しながら、理解の促進に努めたいと考えている。

議事内容（要旨）	
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・防災分野は女性が入っていきづらいというのがあると思う。しかし最近では災害が多く、避難所では女性の視点が重要だ。ぜひ積極的に働き掛けて、増やしてもらいたい。 ・41番は、新型コロナウイルス感染拡大により中止ということなので、E判定というのは分かる。42番がE判定となっているのは、令和3年よりも増えているが、そこまで増えていないということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・300人増えているが、コロナ禍で、参加者数がなかなか増えていない状況だと聞いている。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・前回か前々回の会議で出たかもしれないが、オンライン会議だったら、参加者が増える気がする。そういったことも検討してもらいたい。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等でE判定が出ている。手間がかかるかもしれないが、市のホームページで「〇〇を開催します」などといった告知や「〇日なら参加できる」といった意見を出せる場所があれば、少しは違うような気がする。 ・広島市は「高齢者いきいき活動ポイント事業」というのがあり、どこかに行くとポイントがもらえる。これまでは開催側だったので分からなかったが、自分が前期高齢者となり、こういう事業に参加する側になると、行きたいものがあったとしても、行きたいけれど日にちが合わないケースもあるのではないかと感じた。全部でなくても一つでも、例えば「来年度〇〇をやろうと思います。参加してみませんか」と事前に広報してみると、違うものが見えてくるのではないかと感じた。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災に女性の視点をとということで、昨年、危機管理課では出前講座を8回開催し、啓発した。出前講座は地域に行くので、地域の人と日時を調整している。なるべくたくさんの人に参加してもらえるよう、配慮していかないとはいけないと思う。そのような取組も、可能な範囲でできればいいと思う。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにあれば伺いたい。
越智委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2-1の14番に関連して、男性職員は育児休業を平均何日くらい取得するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な数値を把握していないため、担当課に確認し、後日、本日の審議会の資料を市ホームページに掲載する際に、あわせて回答する。※1
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2-1の12-2、12-3番は、制度の周知や利用の促進とのことだが、1回だけでなく定期的にやっているという意味か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・12-2番は、10月13日にくららで行った「子育て応援就職フェア」の回数を入れている。大きなセミナーや相談会は、年1回になる。 ・12-1番は昨年度、対面講座2回、オンライン講座1回の計3回実施している。
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特に国の制度の啓発等は、大きな括りで集まって1回だと、市民に浸透しづらいので、情報公開できるものは市民ポータルの中で公開すると、自分で検索して見られると思う。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにあれば伺いたい。

議事内容（要旨）	
住田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「おしゃべりカフェ」や「ワークライフバランス講座」等の託児に関わっている。託児の利用がたくさんあるということは、参加者は女性がほとんどだと思うが、男女共同参画事業なので、本当は男性ももっと参加した方がよい。14-2番の男性の参加者は多かったのか、どうか。女性ばかりではなく、男女共にいた方がよいと思っているので、男性が少ないのであれば、男性も参加できる又は男性ばかりが参加できる企画があってもよいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「おしゃべりカフェ」は、実際、女性の参加者の割合が高い。男性が参加したらだめというわけではなく、老若男女問わず講座に来てもらえるよう周知している。令和3年度までは、市の広報紙やホームページで周知する際に「育休中の女性」と記載していたが、昨年度からは女性を外して「育休中の方」にして、男性も参加できることをアピールしているところ。昨年度、2月後半に開催した「おしゃべりカフェ特別講座」では、男性だけではなく、若いカップルや夫婦を対象としたところ、男性が5、6名参加した。 ・男性向けの啓発については、前年度、前々年度から大事だと認識している。講座の開催にあたり、講師の方と話をすると、男女共同参画のイベントに男性は参加しづらいという意見が結構あり、男性が損をするのではないかという印象を持つ人もいるようだ。男性限定というよりも、夫婦や子どもを含めた家族といった、皆でできる講座を「おしゃべりカフェ特別講座」の枠で今後も実施していきたいと考えている。
住田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう風にもっと工夫したらよいかも说不定い。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・土日開催もあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりカフェ特別講座は、基本的に土日祝日に開催して、家族や子ども連れで参加しやすいようにしている。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画というと、男性が引けてしまうというのは問題がある。男性にもメリットがあり、参加してもらえるとよい。男性大歓迎と書いてもよいかと思う。そういう姿勢を見せてもらいたい。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2-1の15番は目標、実績どちらも0で、A判定となっている。どのように考えたらよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童が0人と捉えてもらいたい。待機児童の判定については、資料2-2の③に該当する
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・15番を残しているのは、従来この事業があるので落とせないということか。0だからよいという訳にはいかないということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その通り。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・16-1番はD判定となっている。減らす見通しは何かあるか。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2、3年度は0人で、目標を達成していたが、令和4年度は達成できなかった。希望する児童の数は年々増加傾向にあり、令和2、3年度はコロナ禍で在宅の児童もいたため、たまたまカバーできたと聞いている。昨年度からは外に出る子どもが増えたということで、このような数字となったとのこと。 ・令和4年度の数字は、公立の放課後児童クラブのもの。対策として、公立に加えて民間施設の誘致を進める取組を行い、0を目指すとのことだった。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかになければ、議題3 男女共同参画推進事業の取組状況について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3説明
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・③の「おしゃべりカフェ」は市内でやるものと出張でやるもので参加者の差がある。周辺町に行くと、参加が少ないというのがあるかと思う。夫婦や家族全体で参加できるような講座があってもよい。最近だと、くらの前でキッチンカーが出ているイベントがある。そんな、皆で出かけてみようと思うイベントとの抱き合わせのような形もできないかと以前から思っている。男性だけ、女性だけと考えず、家族全員で考えてもよいのではないか。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかになければ伺いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・よいご意見をいただいたと思う。個人的にイベントの手伝いをするのがあり、休日にたくさんの親子が来るのを目の当たりにする。そういった場に啓発のブースを設けると、集客の労力を使わずに啓発できるので、そういう手法もあると思った。情報を収集して、何かイベントに参加できないか、来年度考えてみたいと思う。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかになければ、議題4 第3次東広島市男女共同参画推進計画（後期実施計画）策定に係る市民意識調査等について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・概要説明
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4-1、4-2、4-3、4-4、4-5説明
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4-1によると、前期計画の基本目標は人づくり、環境づくり、安心づくりの順番だったが、後期では、環境づくり、人づくり、安心づくりの順番となっている。変更する理由があれば聞きたい。
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県の施策の体系に沿った形で組み立てたいという事務局の希望があった。広島県は仕事と暮らしがあり、意識改革があり、暴力防止の話になっているので、それに沿った形に設定している。東広島市の方向性Ⅰが広島県の領域Ⅰ、方向性Ⅱが領域Ⅱ、方向性Ⅲが領域Ⅲという流れでの提案となっている。

議事内容（要旨）	
藤本委員	・ということは、国と市の比較もできるということで、文言の中に入れようと思っているのか。
(株)ぎょうせい担当者	・比較もできるが、どういう形で入れるかは、話が進んでいない。大枠として、広島県の流れに沿った形で行きたいということ。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4-2問11について、がん検診受診率の確認をするために、がん検診についての質問がある。それなら、受けているか、受けていないかという大雑把な聞き方ではなくて、もう少し細やかに尋ねてもよいのではないか。検討してもらいたい。 ・安心づくりの中にDVという項目があるが、市民の気持ちとしては、安心は経済的な不安の有無が大きいように思う。男女共同参画の意識調査なので、経済的な問題までは聞くものではないと考えているものかもしれないが、生活に対する不安がどの辺りにあるのかを調べてみてほしいと思った。
(株)ぎょうせい担当者	・健康づくりに関しては、調査の中で唐突に出てくるイメージがあるので、例えば「東広島市では、男女共同参画の項目の一つとして、女性の健康づくりや母子保健の推進を行っている」というような一文があつてからの質問の方がよいように感じた。事務局と検討したいと思う。
藤本委員	・以前は職場や地域等、どこで検診を受けているのかというような質問だったように思う。今回は受けているかどうかという、ざっくりとした聞き方なので、もう少し考慮してもらいたい。
(株)ぎょうせい担当者	・東広島市は健康増進の分野でもこういった調査を行っており、細かく質問していると思う。
藤本委員	・その通りで、それらとこちらのものがうまくリンクすればよいと思う。双方で情報交換しながら、似たような聞き方、矛盾のない聞き方を検討してもらいたい。
野村委員	・資料4-2について、今回からインターネットでの回答も始めている。そもそも意識調査は、ランダムに選んで送付し、紙で返答してもらっていたのか。
事務局	・その通り。
野村委員	・インターネットで回答した人は、プレゼントキャンペーンに応募できるようだが、紙ベースの人はどうか。
事務局	・紙ベースの人はできない。
野村委員	・前回の調査報告に回答数や回答率、配付数等が記載されているのか。
(株)ぎょうせい担当者	・市民意識調査、事業所アンケート報告書47ページにある。
野村委員	・今回も配付数は同じくらいか。
(株)ぎょうせい担当者	・同じである。

議事内容（要旨）	
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ポータルはよいと思っている。ポータルに登録してもらい、この取組で回答率が上がればよいと思う。 ・資料４－２問 31 では、参加意向を聞いている。これだけで済ませるのではなく、どうすれば、何があれば参加したいと思うかということも聞いてみてはどうか。書いてもらうのは抵抗があるかもしれないので、例えば「育児施設がある」「キッチンカーがある」などと「その他」という選択肢を設けてはどうか。どのようなニーズがあるのかを多くの人から聞き取れるよい場だと思う。
(株) ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・検討したいと思う。
市場委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、性の多様性を入れたが、LGBTQ等の研修の実施や学校の校則の見直しを行っている。 ・資料４－３で、性の多様性についての質問がある。問 18 でLGBTQについての質問と用語の解説があり、それを受けて問 20 の質問がある。一方、資料４－２は問 32 に用語の解説があり、その前の問 27 でLGBTQについて尋ねている。これは答えにくいのではないかと思った。
(株) ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・たしかに問 32 を先にし、資料４－３のような流れにした方がよいかもしれない。事務局と検討したいと思う。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・意識調査の項目についてなどでも構わないので、意見を言ってもらいたい。 ・資料４－２問 32 のアンコンシャス・バイアスの用語解説の中に、例として「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」がある。これは昔から聞く伝統的役割意識等といわれるもので、アンコンシャス・バイアスと区別しにくい。アンコンシャス・バイアスは思い込みや、自分で自覚できない所でふと出てしまう行動だと思う。例えば女子の数学のテストの点数がよいと「女の子なのにすごいね」と言うなどというものなので、もう少し無意識の部分で偏っている、とっさに出てくるという「バイアス」が分かるような書き方にしてもらった方が分かりやすい。従来の伝統的な役割意識とどこが違うのか分かりにくい。
(株) ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・「青いランドセル、赤いランドセル」といった類だと思う。修正する。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにあれば伺いたい。 ・会議後に気がついた点があった場合、いつ頃までなら対応可能か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・１週間後、10月10日火曜日までとしたい。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・気がついたことがあれば、１週間後までに事務局に連絡してもらいたい。 ・本日の議事は全て終了したが、他に意見があれば伺いたい。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から連絡事項があるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の日程、審議会委員の任期について
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・閉会

※1 男性の育児休業取得職員の割合は、令和４年度で27%（東広島市特定事業主行動計画（第４期計画）／東広島市ホームページ参照）